



## 2015年ホベツアラキリュウ発見40年 -ホッピーがもたらしたものの④-



未記載種のテトラゴニテス属アンモナイト（後のテトラゴニテス・ターミナス）がリストされていた穂別町立博物館収蔵資料目録



1989年に新種として発表されたテトラゴニテス・ターミナス

1 cm

ホッピーが発見され、博物館が設立されたことで、むかわ町穂別でさまざまな活動が行われました。例えば、1982年～1985年には鈴木茂学芸員を中心とした地質調査と博物館による化石の収集が行われ、1986年に「穂別町立博物館収蔵資料目録 I 白亜系函淵層群（＝函淵層）産化石」が出版されました。重田康成研究主幹（国立科学博物館、当時は東京大学大学院生）は、この目録を見て、自身が研究対象とされているテトラゴニテス属アンモナイトが穂別地域の函淵層からも産していることを知られたそうです。後に重田氏の研究によって、このアンモナイトは1989年に新種テトラゴニテス・ターミナスとして発表されました。



穂別地域を調査されていた松本達郎名誉教授（左）（1992年）（利光誠一博士提供）



ハドロサウルス科恐竜化石（尾椎骨）と発見者の堀田良幸氏（2013年）

ハドロサウルス科恐竜を発見された穂別地域在住の堀田良幸氏は、1980年から主に穂別地域でアンモナイトの収集をされていました。穂別地域からは首長竜などの骨化石も比較的多く産出しますが、どの骨化石も茶色からこげ茶色に変色していて、一見ただけでは多産する材木化石と見分けることが困難です。堀田氏は、アンモナイトの調査研究のために穂別地域・穂別博物館を訪れていた松本達郎名誉教授（九州大学）に骨化石の構造・特徴について教えてもらい、このことで材木化石と骨化石の違いを理解したとのこと。つまり、ハドロサウルス科恐竜の骨化石の発見は、アンモナイトの調査研究のため松本名誉教授が穂別に來られたことにも端を発しているといえます。

ここで紹介したものはごく一部の事柄ですが、穂別博物館やむかわ町に残されている古生物・化石関係の知識・財産は、ホッピーの発見を契機としたさまざまな活動の蓄積によるもので、今後もさらに貴重な知識や資料が蓄積・収集されることが期待されています。

学芸員 西村智弘

# 2015年 恐竜化石発掘現場見学ツアー 参加者募集



昨年の発掘作業の様子

むかわ町穂別で発掘調査が進められている、恐竜化石の発掘現場を公開します。

※昨年・一昨年の大規模な発掘調査とは異なり、今年は少人数で小規模な補足調査を実施します。

実施日 ①9/12(土)、②9/13(日)、③9/19(土)、④9/20(日)、⑤9/21(月祝)、⑥9/22(火祝)、⑦9/23(水祝)  
それぞれ、午前の部(9:30~11:30)、午後の部(13:30~15:30)があります。

集合・解散 むかわ町立穂別博物館

対象 小学生以上(小学生は保護者同伴)

募集人数・要領 定員毎回24人(応募者多数の場合は主催者による抽選とします)

料金 博物館観覧料+参加料100円

服装等 長袖、長ズボン、長靴またはトレッキングシューズなど、帽子  
その他、軍手、水筒など各自が必要なもの

※現地は足場が不安定なので、歩きやすく、動きやすい服装で参加願います。

備考 小雨でも実施します。ただし注意報・警報が発令された場合は中止とします。

申込方法 ①参加希望日時(各実施日の午前・午後のどちらか1回を明記)  
②参加希望者全員の氏名と年齢、③住所、④電話番号を、  
往復はがきでお申し込みください。(返信はがきには宛名を記入してください)  
申込期限は各実施日の10日前必着とします。

問合先 〒054-0211 勇払郡むかわ町穂別80-6 むかわ町立穂別博物館  
電話・ファックス 0145-45-3141

## むかわ町立穂別博物館

開館時間 9:30~17:00(最終入館16:30)

観覧料 個人/小~高校生:100円

大人300円

団体/小~高校生:50円

大人200円

※団体は10人以上 ※小学生未満は無料

9月2015年

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

10月2015年

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3		
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

■ 休館日 ○ 町民無料観覧日



穂別市街のガソリンスタンドは夜間と日曜日は営業していませんのでご注意ください。